

丹波黒大豆の年内コンバイン収穫を実現

(農林センター)

- ・ 早植え・密植・摘心を組み合わせて、従来より1ヶ月収穫期を前進する技術を開発しました。
- ・ 本技術により丹波黒大豆の年内コンバイン収穫が実現、慣行手作業比20分の1の収穫時間で大規模経営に適応（南丹地域以南が対象）します。

栽培技術の組合せにより
黒大豆の生育をコントロール



年内のコンバイン
収穫を実現！

12月上旬に子実水分25%

早植え

(5月下旬播種)

収穫が早くなる効果

密植

(条間80cm程度)

草姿が立性になる効果

摘心

(本葉第8葉節)

草姿がコンパクトになる
倒伏に強くなる
下位分枝が上向き強勢になる

- ・ 収穫作業の大幅な省力化により、集落営農組織等に求められる5ha以上の大規模栽培が可能
- ・ 積雪による品質低下を解消し、耕耘・播種・中耕培土・農薬散布及び収穫までの基幹作業を全て機械で行える（機械化一貫体系）省力技術が確立
- ・ 丹波黒大豆が南丹地域以南の大区画農地整備地域の主要品目候補に追加

- ・ 大規模経営体が丹波黒大豆栽培に取り組むことができ、産地拡大につながります。京都産丹波黒大豆の生産販売が増加し広く利用されることで、消費者により身近な食材になります。